

公開シンポジウム

自治体調査データを掘り起こす —EBPM・政策研究の可能性と課題—

3月5日(金)14:00～17:30

オンライン
開催

第1部

14:00～15:30

- 趣旨説明 少子高齢化社会における自治体データ活用の意義について
森田 朗（津田塾大学総合政策学部教授/RISTEXセンター長）
- 政府の動向報告 政府における自治体データのオープン化の取り組み
平本 健二（内閣官房政府CIO上席補佐官）
- 事例報告
報告1 自治体保有の社会調査データの二次利用について
川口 遼（東京都立大学子ども・若者貧困研究センター特任助教）
報告2 地方行政機関が保有する医療データの二次利用について
伊藤由希子（津田塾大学総合政策学部教授）

休憩

15:30～15:45

- 休憩

第2部

15:45～17:30

- 事例報告
報告3 自治体調査データのデータアーカイブへの寄託について
三輪 哲（東京大学社会科学研究所
附属社会調査・データアーカイブ研究センター教授）
*自治体担当者による事例報告の実施を調整中。
- パネルディスカッション
自治体保有データの二次分析の課題と可能性
モデレーター : 阿部 彩
ディスカッサント: 平本 健二、三輪 哲、伊藤 由希子、川口 遼、自治体担当者

参加費

無料

申込み

事前登録制（3月4日迄）

https://zoom.us/webinar/register/WN_uDPI_oUSUa3Gw-2c_KRfA



お問い合わせ先

東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター 担当：川口・山本

E-mail: rccap@tmu.ac.jp

TEL: 042-677-2065